
クリエイティブ飛鳥
未来への風プロジェクト
Creative asuka. "KAZE" project to the future

2014年度 実施報告書

クリエイティブ飛鳥 未来への風プロジェクト Creative asuka. "KAZE" project to the future



Creative飛鳥・未来への風プロジェクト

「『明日香の匠』展」と「飛鳥・音の風景」に寄せて

明日香の地から芸術文化を発信しようと、2015年の春「明日香の匠」展と「飛鳥・音の風景」をテーマに音楽会が開催されました。この企画に際して、14年に明日香村文化協会々長経験者と外部からの協力を得て実行委員会が組織され村内在住の美術家と音楽家を結集しての画期的な文化発信となりました。

「明日香の匠」展では、30名のものづくりの作家が選考され、その内容は日本画、洋画、彫刻、工芸、書芸、写真、その他の表現と多岐に渡ったことで展示への工夫が要求されましたが（※企画・創の協力もあり見事な美術展となりました。

この匠展では、特別出品者として西岡善信（映画美術監督）、故米田玉泉（書家）、故田中敦子（現代美術家）の作品が展示され会場が一層華やきました。かやのもり 栢森出身の西岡善信氏の映画美術のデザイン画には、古民家を生家とされる西岡邸のもつ重厚さと奥飛鳥の佇まいが、その作品に表現されている事が見てとれます。また、米田玉泉氏は大字真弓生まれの人で、古代王族が眠る真弓の丘の漂いを感じさせる風格が、その書作品に読みとる事ができます。

夜空のきれいな所を求められ、明日香の栗原の地に移り住んだ田中敦子氏は、その晩年に多くの作品を其処で創作された事からも、明日香の地には、こうした創作家にパワーとインスピレーションを与える地霊の様なものがあるのではと想えます。古代の絵師たちも、この地に築造されたキトラや高松塚古墳の石室に美しい壁画を描き今に遺しています。

3月15日に開催された音楽会では、バリトン歌手松岡剛宏氏（越在住）とピアニスト渡会みつはる氏（烏庄在住）の音楽家を軸として、明日香の響保存会による八雲琴演奏と特別ゲストとして関西歌劇団の出演も得て多彩な音楽会となりました。来場された聴衆をも巻き込んだ演出もあり、明日香村ならではの音楽文化の発信となりました。

1400年前に都であった明日香の地を闊歩した万葉人は、この地で多くの和歌を詠み万葉集に遺し伝えました。明日香村での美術展と音楽会を通して、我々もこうした明日香村の歴史的風土と卓越した美しい自然からエネルギーをいただき更なる芸術文化を創造してゆきたいと願っています。

2015年3月

「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会
実行委員長 烏頭尾 精



2014年度 事業概要

■ コンセプト

明日香村の“プリミティブな魅力”。それは、日本創成の地として、あらゆるモノやコトを産み出す創造性あふれるエネルギーが、今もこの地に眠っていることである。営々と受け継がれてきた“大らかな風土”と“しなやかな精神性”は、日本の明るい未来を築いてゆく上で大いに有効性を発揮するものと期待される。

そこで、明日香村の地場から発せられるこの潜在的なエネルギーを表す言葉「クリエイティブ（創造性あふれる）」をキーワードに、

- (1) 日本における明日香村の果たすべき(他の地域にはできない)役割を明確にし、
- (2) 明日香村から全国さらには世界へと情報発信機能を高め、
- (3) 次世代の日本を担う有能な人材の育成に寄与しながら、
- (4) 未来志向型の村づくりを実現するために、

長期的視野に立って「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」を推進するものとする。

■ 2014年度における事業目標

本プロジェクトの立ち上げの年である2014年度は、村内のクリエイティブに光を当てた事業を開催し、未来志向の村づくりに向けた機運の醸成を目指す。

■ 実施体制

主催：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

後援：明日香村、一般財団法人明日香村地域振興公社、公益財団法人古都飛鳥保存財団、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所

■ 実行委員会について

・ 構成メンバー

実行委員長	烏頭尾 精(日本画家・京都教育大学名誉教授)
副実行委員長	脇田 宗孝(陶芸家・奈良教育大学名誉教授)
実行委員	境山 正甫(明日香村文化協会会長)
実行委員	松岡 剛宏(パルティン歌手・大阪音楽大学演奏員)
実行委員	北村 辰治(奈良県立万葉文化館 副館長)
実行委員	田中 祐二(明日香村教育委員会 教育長)

・ 事務局／明日香村教育委員会内(〒634-0141奈良県高市郡明日香村川原91-1)

・ 実行委員会の開催

第1回	2014年8月6日(水)	10:00～	明日香村中央公民館	研修室
第2回	2014年11月19日(水)	13:00～	明日香村中央公民館	研修室
第3回	2015年1月16日(金)	9:30～	明日香村中央公民館	研修室



■実施概要

I)「明日香の匠」展

期間：2015年2月14日(土)～2月22日(日)※但し、16日(月)は休館

10:00～17:30(受付/17:00まで)

会場：奈良県立万葉文化館1F 企画展示室(奈良県高市郡明日香村飛鳥10)

内容：明日香村に在住の美術家、工芸家30名と明日香村ゆかりの特別出品作家3名による作品展を開催。

特別出品作家：西岡 善信(映画美術監督/明日香村出身)

田中 敦子(現代美術家/元明日香村在住)

米田 玉泉(書道家/明日香村出身)

出品作家：鳥頭尾 精(日本画)、鳥頭尾 忠子(日本画)、川本 恵(洋画)、勝川 喜昭(洋画)、勝川 京子(洋画)、脇田 宗孝(陶芸)、田中 茂雄(陶芸)、佐土 浩一(金工)、佐土 玲子(金工)、小林 陽介(木彫)、高橋 直樹(ガラス造形)、安田 麻里(ガラス造形)、小田 珠生(ガラス造形)、上田 孝文(木版画)、垣内 飛翠(書芸)、稲垣 小燕(書芸)、鈴木 葩光(書芸)、境山 晴子(書芸)、上山 好庸(写真)、森本 富雄(写真)、梅田 耕吉(写真)、岡本 路子(写真)、萩田 靖二(写真)、上田 由美子(写真)、柳 敏明(写真)、楠原 利平(木工芸)、渡会 美枝子(詩書画)、島田 清(面彫)、折坂 諭(ギター製作)、島田 壽子(パッチワークキルト)

展示・構成：野村 ヨシノリ(奈良アートブロム)

入場料：無料

入場者数：2,114名

II)「飛鳥・音の風景」

日時：2015年3月15日(日)開演14:30 [開場14:00]

会場：明日香村中央公民館 1Fホール(奈良県高市郡明日香村川原91-1)

内容：明日香村在住の音楽家と特別ゲストの関西歌劇団により、クラシック音楽の本質的な魅力とその楽しみ方を親しみやすいかたちで提供する。

出演：【明日香村在住の音楽家】

松岡 剛宏(バリトン歌手)

渡会 みつはる(ピアニスト)

脇田 初枝、西川 千佳子、浦谷 文子(明日香の響保存会/八雲琴奏者)

【特別ゲスト/関西歌劇団】

加藤 英雄(ピアニスト)

西口 浩二(テノール歌手)

西原 綾子(メゾ・ソプラノ歌手)

三輪 千賀(ソプラノ歌手)

藪川 直子(演出家・舞台監督)

入場料：無料

入場者数：220名

「明日香の匠」展 2015.2.14 [SAT] - 22 [SUN] 奈良県立万葉文化館 1F 企画展示室



映画美術監督

西岡 善信

NISHIOKA Yoshinobu

1922年、明日香村生まれ。1948年に大映京都撮影所美術部に入社。カンヌ国際グランプリを受賞した『地獄門』（衣笠貞之助監督）をはじめ『炎上』（市川崑監督）、『弁天小僧』（伊藤大輔監督）など、多くの名作の美術を手がけ日本を代表する美術監督となる。1992年紫綬褒章、1999年京都府文化賞、2001年伊・文化賞（エンリオ・フライアーノ賞）など受賞多数。



左下:〈映画「地獄門」よりデザイン画〉

左上:〈映画「新源氏物語」より「左大臣の館」のデザイン画〉

中下:〈映画「新源氏物語」より「藤壺の館」のデザイン画〉

中上:〈映画「長崎ぶらぶら節」より「メインセット」のデザイン画〉

右:〈「NHK 古代史ドラマスペシャル-大化改新-」撮影時資料〉

現代美術家

田中 敦子

TANAKA Atsuko

1932年、大阪生まれ。1955年に吉原治良がリーダーを務める
具体美術協会に加入。次々と衣装を着替えてゆくパフォーマンス
など斬新な作品を発表し、電球とコードの絡まりに着想を得た
絵画を制作し始める。その作品が、来日したフランスの批評家
ミシェル・タピエの目にとまり、高い評価を得る。2005年没。



WORK 1966 個人蔵



書道家

米田 玉泉

KOMEDA Gyokusen

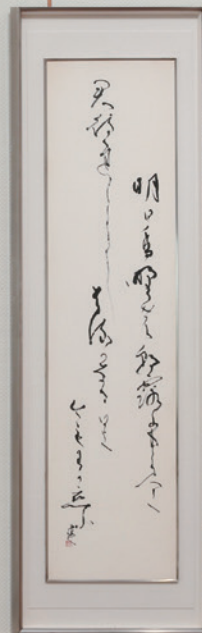
1911年、明日香村生まれ。奈良を中心に活躍した書家、辻本九華・辻本史邑に師事。奈良県立高田高校にて教鞭をとりながら、日本書芸院や県展で審査員を務めるなど後進の育成に尽力する。1999年没。



左：杜 甫「飲中八仙歌」／個人蔵

中：明日香の詩人 松村又一の詠める歌／明日香村 所蔵

右：佛語「一切衆生盡有佛性」／個人蔵



日本画

烏頭尾 精

UTOO Sei



1932年明日香村生まれ。京都市立美術大学卒業。'59年新制作展新作家賞、以後2回受賞。'60年奈良県文化賞。'92年日本経済新聞社「現代日本画俊英烏頭尾精」東京・名古屋・京都開催。京都日本画秀作展優秀賞、京都市芸術功労賞、地域文化功労者表彰など受賞。現在、創画会会員、京都教育大学名誉教授、京都日本画家協会顧問。



左から：《竹の山・2014》、《丸い丘・春》、《丘に陽が》

左から〈秋象〉、〈記憶の卓〉、〈刻〉

烏頭尾 忠子



日本画

烏頭尾 忠子

UTOO Tadako



1936年奈良県御所市に生まれる。京都女子大学卒業。奈良教育大学附属幼稚園退官後、大阪教育大学、奈良教育大学、奈良文化女子短期大学にて非常勤講師を務める。奈良県展にて県展賞、知事賞、文部大臣奨励賞を受賞。近鉄奈良店美術画廊にて個展（他10回）。絵本（共著）、画集等出版。現在、奈良県美術人協会会員、奈良県展招待作家。

洋画

川本 恵

● KAWAMOTO Megumi

1938年奈良県大和高田市生まれ。'61年奈良学芸大学芸術科(現:奈良教育大学)卒業。以後'92年まで葛城市白鳳中学校に勤務し、退職。在職中、数年間奈良県図工・美術科指導員。'60年高田洋画会賞。'62年県展入賞、高田市美術展市展賞、研水会展入選。退職後、奈良県美育懇話会に参加し、作品展に出品。

川本 恵



左から…〈雪の明日香路1〉、〈雪の明日香路2〉

洋画
勝川 喜昭

KATSUKAWA Kisho ●

1938年明日香村に出生。2002年明日香郵便局長退任。'01～'11年明日香村伝承芸能保存会々長。'09～'14年新協美術会奈良・大阪支部展に各年入選。'10～'14年新協美術展(東京都美術館)に各年入選。'12年新人努力賞、新協美術会々友推挙。現在、明日香村文化協会、明日香村伝承芸能保存会、公民館絵画クラブ、橿原ロータリークラブに所属。

〈スペインの風Ⅲ〉



勝川 京子

洋画

勝川 京子

● KATSUKAWA Kyoko

1938年兵庫県姫路市に出生。'61年大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。2009～'14年新協美術会奈良・大阪各支部展に各年入選。'10～'14年新協美術展(東京都美術館)に各年入選。'14年奈良新協美術努力賞、新協美術協会々友推挙。現在、明日香村文化協会、明日香村伝承芸能保存会、公民館絵画クラブ、コーラス明日香風に所属。



《明日香村近隣公園》

陶芸
脇田 宗孝

WAKITA Munetaka



左から…《シルクロード幻想「サマルカンド」》《シルクロード幻想「トルファン」》《シルクロード幻想「ベルセポリス」》

1942年生まれ。タイルデザイナーを経て、父祖の地・明日香村に「飛鳥赫黨」を開窯。個展（近鉄百貨店・アベノハルカス開店記念展など）、公募展に出品・受賞。また、古代窯業（巨大埴輪・奈良三彩・埴仏・古代ガラス玉などの研究論文・復元製作をおこなう。著書に『世界やきもの紀行』『陶彩道遥』『陶の語り部』。現在、奈良教育大学名誉教授。

陶芸

田中 茂雄

TANAKA Shigeo

1963年京都府生まれ。東京理科大学中退。古陶磁に魅せられ土や石、釉薬の研究を行う。その後、李朝・桃山時代の古陶磁を手本として独学で焼き物を始める。2007年明日香村に移住。'10年穴窯を築窯。窯名は李溪窯。



左から：《粉引瓶》、《焼締耳付花入》、《井戸茶碗》



金工 佐土 浩一 SADO Hirokazu



左から…《重ね金三日型合子》、《銅金銀鍍象嵌渦文大皿》、《重ね金筥》



内藤四郎(重要無形文化財保持者)、山田礼子(ジュエリー作家)の各氏に師事。1976年日本工芸会正会員認定。大和郡山慈光院新本堂釘隠、信貴山成福院釘隠を制作。万葉文化館、橿考研付属博物館ショップに出品。2000年中央公民館ギャラリーで個展。'07年画廊飛鳥で「飛鳥で生まれた作品展」。'10年、'14年「浩一・玲子2人展」。シュタイナー学校の講師を務める。

金工
佐土玲子

SADO Reiko ●



左から:〈彫金額「たちばなは」〉、〈古を今に〉、〈彫金額「磯の上に」〉



鹿島一谷、内藤四郎の各氏に師事。金具技法を桂盛行氏、装身具を山田礼子氏に学ぶ。1973年日本工芸会正会員に認定。大和郡山慈光院新本堂天蓋、信貴山成福院釘隠、厨子(ずし)用華鬘(けまん)の制作を行う。2001年中央公民館ギャラリーで個展。'05年明日香名誉村民記念品「万葉の歌に寄せて」の打出し額を3点制作。近鉄文化サロン彫金、シュタイナー学校の講師を務める。

1981年生まれ。2004年東京造形大学彫刻科卒業。
国展新人賞、京展賞、秀桜基金留学賞、四万十川カッパ
造形大賞最優秀作品賞、木彫フオークアートグランプリ
他を受賞。サロンギャラリー余白（名古屋）、画廊飛鳥、
ギャラリー勇斎（奈良）、瀬戸内市立美術館（岡山）他で個展
等を開催。



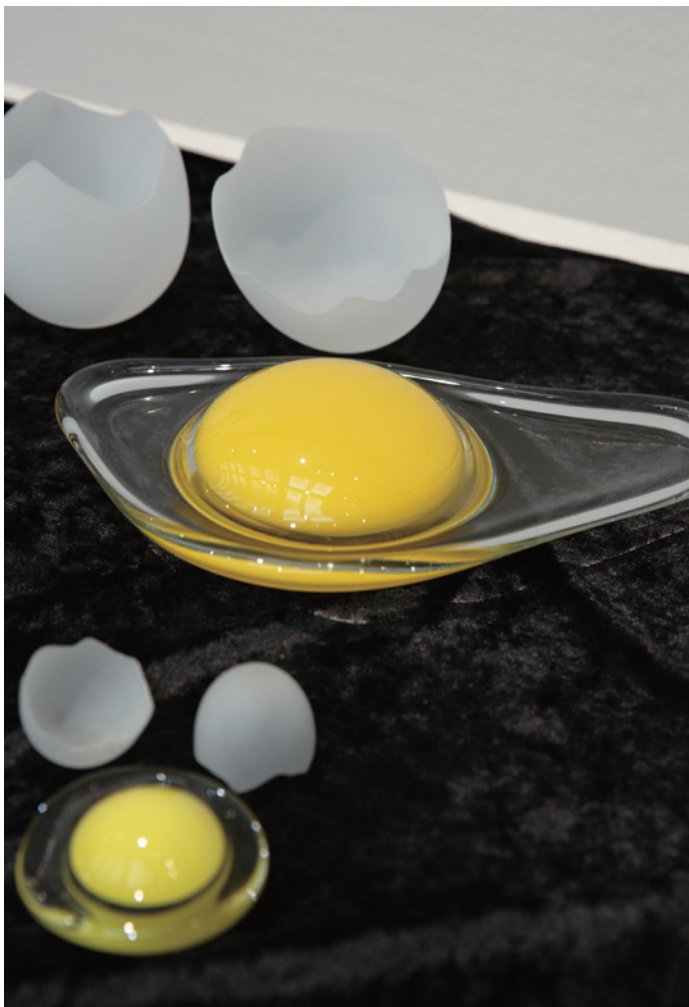
木彫

小林 陽介

KOBAYASHI Yosuke



左から:《ざおうごんげん》、《だいこちによらい》、《ふどうみょうおう》



左から:〈卵とカラ〉、〈森の飛鳥〉、〈色々な模様の器〉

ガラス造形

高橋 直樹

TAKAHASHI Nawoki



1951年東京生まれ。日本大学理工学部卒業。10年間岩津硝子桜井工場にて吹きガラス職人として勤務。'83年明日香村に移住(明日香むらの吹きガラス工房立ち上げ)。東急ハンズデザイン賞、西武美術館長賞他を受賞。フランス、ドイツ、アメリカ、中国他、毎年全国各地で個展を開催。

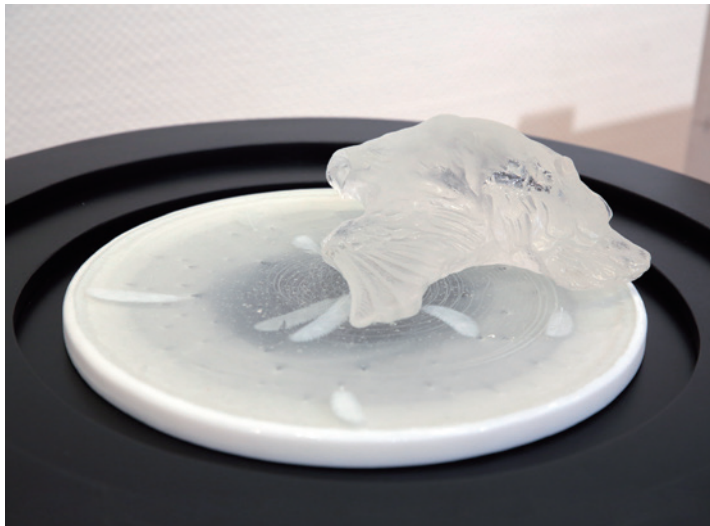
ガラス造形

安田 麻里

YASUDA Mari



1957年生まれ。京都市立芸術大学大学院彫刻科卒業。現代彫刻の制作活動後、ガラスを主な素材として制作を始める。「国際ガラス展金沢」、「日本現代ガラス展」、「日本のガラス展」等に出品。'92年明日香村に工房MARIGLASSを作る。現在、自宅工房とリサイクル館かしはらで教室を主宰。日本ガラス工芸協会会員。



左から:《 鳥のトルソ 》、《 ORIJIN 》、《 RED DATA BOAT 》

ガラス造形

小田 珠生

ODA Tamao



左奥:《硝子のかがみもち》、左前:《きかんこ》、右:《山海の壺》



1971年千葉県生まれ。'92年多摩美術大学卒業。'96年富山ガラス造形研究所(富山県)入学。1997~2002年なないろKAN硝子工房(富山県朝日町)にスタッフとして勤務。'08年明日香村へ移住。'09年夫と自家焙煎珈琲店、珈琲「さんぼ」(明日香村・岡)を開店。'14年珈琲店の隣に個人工房、硝子工房「さんぼ」をオープン。

木版画

上田 孝文

UEDA Takafumi



左:〈輪廻〉、上:〈夜景〉、右:〈鮎を追って〉

1948年奈良県下市町に生まれる。'80年明日香村に転居。2008年学校教員を退職し、版画家・清田雄司氏に師事し、創作活動を始める。奈良県美術展覧会や奈良県高齢者展、教職員展等に出展し入選・入賞する。現在、各地に赴いて写生をしたり、物を見つめて描いたりすることを楽しみに木版画を制作。

書

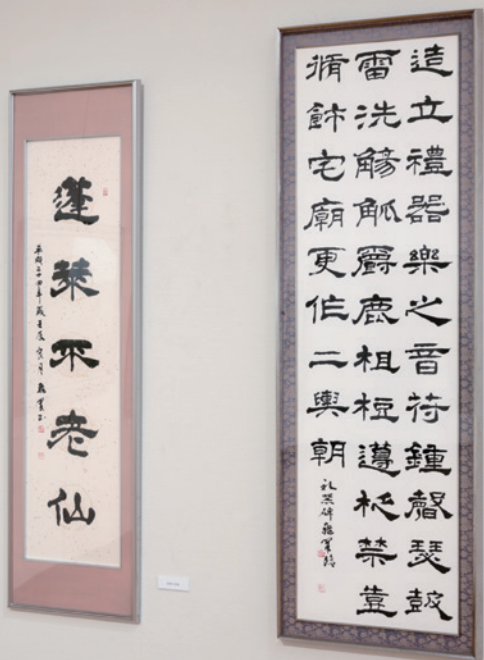
垣内 飛翠

KAITO Hisui



1922年明日香村生まれ。'42年奈良県女子師範学校(現:奈良教育大学)卒業。'71年国貞寿翠、福中悠光、米田玉泉の各氏に師事。'76年より書道講師を務める。'85年日韓書芸招待出品、日本の書展出品、個展3回、書道クラブ展3回実施。'75年より関西大学「明日香村史学文学講座」のテーマの揮毫を36年間務める。2012年1月関西大学より感謝状。現在、明日香村文化協会常任理事であり名誉会員。

左から…〈蓬萊不老仙〉〈禮器碑臨書〉





書

稲垣 小燕

INAGAKI Shoen



1947年大阪府生まれ。1966年川崎白雲氏に師事。毎日書道展大字書部毎日賞、書道芸術院漢字部準大賞など多数受賞。心斎橋豊田ビルイベントフロアにおいて個展を開催。現在、毎日書道展大字書部審査会員、(公財)書道芸術院評議員・漢字部審査会員、(公社)全日本書道連盟正会員、燕京書道交流会常任理事、高野山書道協会参与、明日香村文化協会常任理事、小燕会主宰。

書

鈴木 葩光

SUZUKI Hako

1939年大阪府生まれ。橋本芳邨、藤岡九波の各氏に師事。日本書芸院、日展、毎日展などで多数受賞。1971年丸善美術にて作品を常設、フリー万葉作家となる。二人展(京都・橘屋ギャラリー)、日本の秀作美術展(ニューヨーク)、日仏美術展など次々と作品を発表。これまで茨城大学、奈良芸術短期大学で非常勤講師を務める。

左から：《飛鳥》、《あすか風》／共に(公財)古都飛鳥保存財団 飛鳥の宿 祝戸荘 所蔵



書

境山 晴子

KYOYAMA Haruko



左から:《土方、我東鄙を征すこう方も亦た西鄙を侵す(臨書)》、《砂塵》、《春夜》

1940年奈良県野迫川村に生まれる。1963年奈良学芸大学(現:奈良教育大学)卒業後、奈良県公立学校教員となる。その後、米田玉泉氏に師事し書を始める。真弓会(米田玉泉氏の一門生で作る書道研究会)に所属し書展に出品。独学で甲骨文を研究し作品を作る。日本画、押し花、短歌(2014年11月短歌集「火口湖」出版)などを趣味とする。

写真

上山 好庸

UEYAMA Yoshinobu



左から…《遺産》、《静寂》

1950年明日香村生まれ。奈良新聞社を経て1986年フリーランスに。出版社等の取材撮影を行う傍ら、ライフワークとして大和路、主に飛鳥の撮影を続ける。著書に「万葉・明日香路」（光村推古書院）、別冊「飛鳥」（平凡社）など。2012年から「JAならけん」のカレンダーを担当。近鉄文化サロン奈良講師（公社）日本写真家協会（JPS）会員。

写真

森本 富雄

MORIMOTO Tomio



1944年大阪市生まれ。1968年明日香村に移る。朝日新聞社国際写真サロン、奈良県展、オリエンタルスポーツ写真、三菱月光、富士フィルム、ニコン等で多数受賞。奈良県文化会館「日記帳」、大阪ミノルタ「飛鳥夢幻」、大阪ニコンサロン「私景飛鳥」、「水都大阪・今」、大阪府近つ飛鳥博物館「遠つ飛鳥」等を開催。

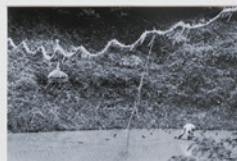


写真
梅田
耕吉

● UMEDA Kokichi

1934年生まれ。奈良学芸大学(現:奈良教育大学)卒業後、小学校教諭となる。視聴覚教育・放送教育の研究に携わり、文部大臣賞、県教育選奨を受賞。「奈良県高齢者写真コンクール」入賞。「明日香路を写そう写真コンクール」入賞多数。2007年、写真展『吉野川・千石橋』を奈良市写真美術館にて開催。現在、明日香村文化協会常任理事。



〈飛鳥悠遠〉

写真

岡本 路子

OKAMOTO Michiko



1947年生まれ。京都衣笠で育ち、奈良へ転居。県立奈良高等学校歴史研究部で仏像と出会う。保育士を経て、1972年以來明日香村祝戸に在住する。石舞台、明日香川の四季の詩(うた)を撮り続けている。第26回「明日香路を写そう写真コンクール」に「洞落」(ちょうらく)で特選、同コンクール入選4回。天理写真展で長岳寺貫主賞受賞。現在、明日香村文化協会理事。



1931年大阪市此花区生まれ。西野田工業高校卒業。2008年「ペンタックスファミリー創立四十周年記念フォトコンテスト」準特選、2009年「明日香路を写そう写真コンクール」特選、2012年「明日香路を写そう写真コンクール」明日香路賞ほか、多数受賞。



〈飛鳥春雪〉

写真
萩田靖二

● OGITA Seiji

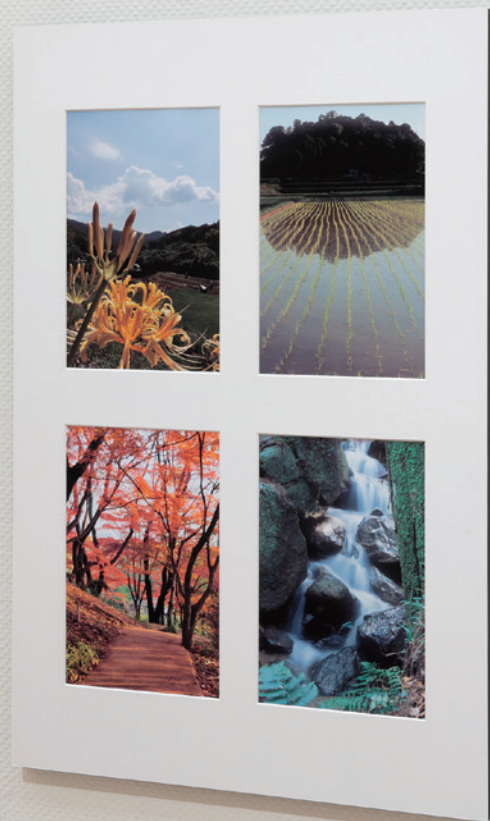
写真

上田 由美子

UEDA Yumiko



1947年和歌山県に生まれる。'72年結婚を機に奈良県に移り、小学校教員として勤務。'80年明日香村住民となる。退職後、写真に興味を持ち、明日香に残る原風景や伝統行事などを撮影する。「明日香路を写そう写真コンクール」「教職員展写真の部」等で入賞・入選する。



飛鳥の詩



行



古の道



棚田眺望

左から〈行〉、〈古の道〉、〈棚田眺望〉

写真

柳
敏
明

● YANAGI Toshiaki

1949年奈良県下市町生まれ。'81年明日香村に転居。2002年「明日香路を写そう写真コンクール」入賞以来、5年連続入賞等。'13年、'14年同コンクールで明日香路賞を2年連続で受賞。その他、全日本写真連盟「なら展」入選、「全国動物写真コンテスト」入選など受賞多数。現在、全日本写真連盟奈良県本部に在籍。

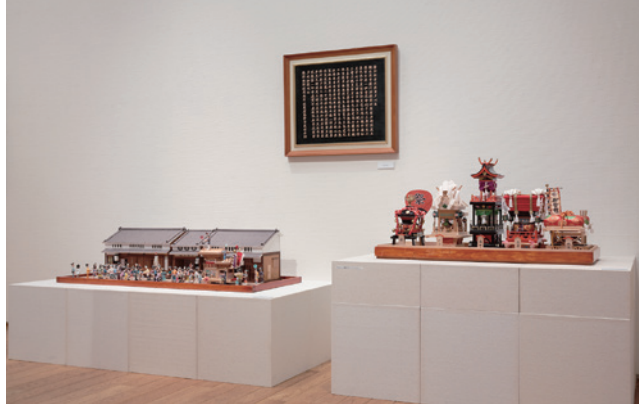
木工芸

楠原 利平

KUSUHARA Rihei

●

1925年生まれ。60歳の頃より独学で木工芸の創作活動を
始め、試行錯誤を重ねる。1995年奈良県高齢者作品展
での優秀賞をはじめ多数の受賞実績あり。



左から:〈岸和田だんじり〉、〈般若心経〉、〈ミニみこし〉



詩書画

渡会 美枝子

WATARAI Mieko



1969年東京生まれ。1987年ロンドン大学英文学コース修学。帰国後、筆墨の手ほどきを岡田紀子氏に、書画を絵手紙創始者、小池邦夫氏、恭子氏に師事。2004年、'11年熊谷守一美術館ギャラリー「詩書画展」発表。'12年広島三越で個展。'13年明日香村に移り住む。'14年近鉄上本町店他、個展開催。



1981



2011



2014

左から:《花微笑》、《芽吹き-寒山拾得図-》、《遊ぶ命》



左から〈天狗〉、〈お多福〉、〈翁〉

面彫
島田
清

SHIMADA Kiyoshi



1944年明日香村に生まれる。建築業を営むかたわら、'75年おもての会入会。北澤三次郎氏の元で、能面打ちを始める。'76年大阪芸術センター主催の作品展に出品。'85年おもての会を退会。2010年京都市芸術館能面展、'12年奈良文化会館能面展に出品。'14年東京国立博物館に天狗面、お多福面を出品。





左から:《ギター-Model 131c》、《ギター-Model 232c》、《ウクレレ-Model U2》

ギター製作

折坂諭

● ORISAKA Satoshi



1967年兵庫県生まれ。関西学院大学文学部卒業。神戸大学経済学研究科中退。楽器商社で主に企画業務に携わる。2012年に明日香村に移住し、ギター・ウクレレ製作工房「明日香弦楽器」を設立。手作りの製作技法を基本に、飛鳥・天平期の美術を取り込んだ楽器を作り出している。

〈 ばらに囲まれて—Tea time 〉



〈 やさしい時間 〉

パッチワークキルト

島田 壽子

SHIMADA Toshiko



1995年よりパッチワークキルトを始める。世界最大級の米国コンテストにて金賞・銀賞、国内でも多数の受賞歴がある。自宅花壇の草花をモチーフに、ピーシング・アップリケ・キルト・刺繍等の手法を用い、布の世界を表現。現在も国内外へ向けて手仕事の素晴らしさを発信し続けている。

DISPLAY STAFF

NARA ART PROM . KIKAKU-SOU

2015.2.11 [WED] - 13 [FRI] • 24 [TUE]

奈良県立万葉文化館 1F 企画展示室







「飛鳥・音の風景」 2015.3.15 [SUN] 14:30~ 明日香村中央公民館 1階ホール



バリトン歌手

松岡 剛宏

MATSUOKA Yoshihiro



1975年奈良県生まれ。大阪音楽大学声楽専攻卒業後、関西歌劇団に入団。その後渡米し、C.Aks氏のもとで研鑽を積む。帰国後、「椿姫」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「賢い女」など、数々のオペラに出演。2002年、R・コルサコフ国際声楽コンクールにて「聴衆特別賞」「ベストロマンスシンガー賞」など4つの賞を受賞。2007年チャイコフスキー国際音楽コンクールの声楽部門にて日本人男性唯一の予選通過者となる。関西学院高等部講師を経て、現在、大阪音楽大学演奏員。明日香村在住。



ピアニスト
渡会
みつはる

WATARAI Mitsuharu



1979年埼玉県に生まれる。武蔵野音楽大学ピアノ科を卒業。山田彰一、イエネ・ヤンドーの各氏に師事。東京吉祥寺の茶房「ぶらん・ぼぜ」で四年間サロンコンサートを行う。2013年明日香村に移住し、自宅でピアノサロンを始める。音楽を通して様々な方との楽しみ豊かなコミュニケーションを目指している。



八雲琴

明日香の響保存会

Asukanohibiki hozonkai



脇田 初枝、西川 千佳子、浦谷 文子

WAKITA Hatsue

NISHIKAWA Chikako

URATANI Fumiko

八雲琴は、江戸後期に伊予の中山琴主なかやまことぬしが創案。その後、飛鳥寺長老であった第7世・山本震琴しんざんが八雲琴の保存と継承に尽力し、演奏者として国の無形文化財の指定を受ける。1980年、後継者育成に取り組むため「明日香の響保存会」が結成。2005年、同保存会は「第25回伝統文化ボーラ賞・地域賞」を受賞。また'09年、同保存会の八雲琴が明日香村無形文化財の指定を受ける。



関西歌劇団

Kansaikageidan

1949年春、指揮者・朝比奈隆を中心に関西の音楽家が集まり、旗揚げ公演「椿姫」で発足。その後年間2回グランドオペラ中心の定期公演のほか数々の公演を行う。1954年、歌舞伎調の「お蝶夫人」公演を機に「夕鶴」や「修禅寺物語」、「赤い陣羽織」(100回公演)といった邦人作品の初演にも力を注ぐ。現在は創作ものを含め、年3回の自主公演を柱に、常に注目すべきオペラ活動を展開。団員数は約200名。

ソプラノ歌手

三輪 千賀 MIWA Chika

大阪音楽大学声楽学科卒業、同大学音楽専攻科声楽専攻修了。オペラ「カルメン」ミカエラ、「修道女アンジェリカ」アンジェリカ、「ジャンニスキッキ」チェスカ、その他コンサート多数出演。第12回KOBIE国際学生音楽コンクール奨励賞受賞。これまでに矢野簞子、石橋栄実、小池輝美の各氏に師事。関西歌劇団正団員。関西歌曲研究会、秋篠うたくらぶ各会員。



メゾ・ソプラノ歌手

西原 綾子 NISHIHARA Ayako

大阪音楽大学声楽学科卒業、同大学音楽専攻科声楽専攻修了。オペラ「カルメン」タイトルロール、「蝶々夫人」ズスキ、「仮面舞踏会」ウルリカ、「ピーター・グラィムズ」アンティ等、数多くの作品に出演。その他「第九」「メサイア」等のソリストも多く務めている。永井和子氏に師事。現在、関西歌劇団理事。大阪音楽大学付属音楽院講師。



演出家・舞台監督

籾川 直子 YABUKAWA Naoko

大阪音楽大学器楽学部ピアノ科卒業後、同大学専攻科声楽学科演出修了。在学中に中村敬一・井原広樹両氏、故戸田鉄雄氏に師事。関西を中心にオペラ演出として活動。「コジ・ファン・トゥッテ」、「愛の妙薬」、「トゥーランドット」、「蝶々夫人」、「ドン・パスクアレ」等を演出、好評を得る。伊丹市芸術家協会会員。



ピアニスト

加藤 英雄 KATO Hideo

大阪音楽大学音楽専攻科修了。ブルガリア・プレヴェンにて現地オーケストラと共演。第8回全日本彩明ムジカコンクール最高位受賞。モスクワ音楽院にてマスタークラスを修了。第11回大阪国際コンクールピアノ部門第3位受賞。現在、歌声喫茶「うたごえ広場♪」や「芸文で第九を歌おう!合唱団」主宰する一方、各地域で多数のコンサートやイベントを開き好評を博す。



テノール歌手

西口 浩二 NISHIGUCHI Koji

大阪音楽大学声楽学科卒業後、ローマ、ドレスデンで研鑽を積む。オペラでは「コジ・ファン・トゥッテ」フェルランド役、「椿姫」アルフレード役、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トリッドウ役、「道化師」カニオ役等に出演する。湯浅富士郎、リチニオ・フランカルディ、リーノ・ブリーズィの各氏に指示。現在、堺シティオペラ会員、関西歌劇団正団員。



当日プログラム(曲目)

《第Ⅰ部》

- ①「明日香風」
- ②「アラベスク第1番」(ドビュッシー)
- ③「幻想即興曲Op.66」(ショパン)
- ④「革命のエチュードOp.10-12」(ショパン)
- ⑤「版画」より「塔」(ドビュッシー)
- ⑥「早春賦」(中田 章)
- ⑦「荒城の月」(滝 廉太郎)
- ⑧「鯨」(シューベルト)
- ⑨「猥星」(シューマン)
- ⑩「魔王」(シューベルト)

- ① 明日香の響保存会(ハルモニオ) × 三輪 千賀(ソプラノ歌手)
- ②・③・④ 渡会みつはる(ピアニスト)
- ⑤ 渡会みつはる(ピアニスト) × 明日香の響保存会(ハルモニオ)
- ⑥・⑦・⑧・⑨・⑩ 松岡剛宏(バリトン歌手) × 渡会みつはる(ピアニスト)

〈休憩15分〉

《第Ⅱ部》

- ① オペラ「カルメン」より「恋は野の鳥」(ビゼー) ※日本語
- ② オペラ「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」(プッチーニ)
- ③ オペラ「ジャンニ・スキッキ」より「私のおいしいお父さん」(プッチーニ)
- ④ ピアノ漫談!
- ⑤「さくら横ちよう」(中田 喜直)
- ⑥「千の風になつて」(新井 満)
- ⑦ ミュージカル「マイ・フェア・レディ」より「踊りあかそう」(ロウ)
- ⑧「鬼のパンツ(フニクリフニクラ)」(デンツァ)
- ⑨「帰れソレントへ」(クルティス)
- ⑩ オペラ「ドン・ジョヴァンニ」より「さあ手を取り合つて」(モーツァルト)
- ⑪ 会場みんなで合唱「ふるさと」(岡野 貞一)

- ① ~ ⑩ 加藤 英雄(ピアニスト)
- ②・⑥・⑨ 西口 浩二(テノール歌手)
- ①・⑤ 西原 綾子(メゾ・ソプラノ歌手)
- ③・⑦ 三輪 千賀(ソプラノ歌手)
- ⑧ 全声楽家による
- ⑩ 三輪 千賀(ソプラノ歌手) × 松岡剛宏(バリトン歌手)
- ⑪ 全出演者による

【五十音順】



平成27年2月15日(日) 朝日新聞

平成27年2月16日(月) 奈良新聞


ジャンル様々「明日香の匠」展
村ゆかりの芸術家ら出品



「明日香の匠」展は、奈良県立美術館で開催される。この展覧会は、奈良県内に住む作家の作品を展示する。作家は、陶芸、書道、絵画、工芸など、さまざまなジャンルにわたる。展覧会は、2月15日から2月22日まで開催される。入館料は無料である。問い合わせ先は、奈良県立美術館、電話0744-21-0000。

「こまどり」

○…作品展「明日香の匠」展
(Creative飛鳥・未来への城) 実行委主催)が、関町香村飛鳥の県立万葉文化館で開かれてい



る一写真。22日まで。
○…飛鳥時代に最先端の創作活動が行われていた回村で現代に活躍する作家を集めたもの。日人画や陶芸、書道や写真などさまざまな分野で活躍する作家30人と、村ゆかりの特別出品作家3人の作品を展示。本彫の小林陽介さんの作品は、子どものような歳土探現や大日如来などモチーフなもの。
○…月曜休館。午前10時から午後5時30分開館。入館無料。問い合わせは実行委員会事務局、電話0744(54)3636。

西岡善信・映画美術

田中敦子：現代美術
書芸、写真、日本画、洋画、金工、ガラス工芸、ガラス彫

「明日香の匠」展

陶芸 書道 本彫 彫彫
米田下京書

入館無料
2015年2月15日(日)～22日(土)
奈良県立万葉文化館 関町香村飛鳥

「明日香の匠」展

「飛鳥・音の風景」

2015年3月15日(日)

250円

明日香の音保存会

明日香村中央公民館

「飛鳥・音の風景」

平成27年2月18日(水) 読売新聞

明日香匠の技一堂に

奈良県立陶芸館、金上など80点

明日香の県立万葉文化館の作品展「明日香の匠」展が、関町香村飛鳥の県立万葉文化館で開かれてい

この展覧会は、奈良県内に住む作家の作品を展示する。作家は、陶芸、書道、絵画、工芸など、さまざまなジャンルにわたる。展覧会は、2月15日から2月22日まで開催される。入館料は無料である。問い合わせ先は、奈良県立美術館、電話0744-21-0000。

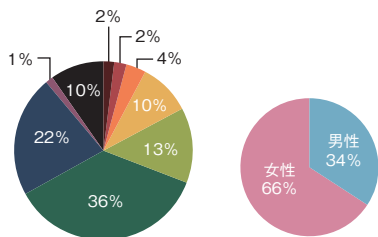


「『明日香の匠』展」に関するアンケート

(対象者：「明日香の匠展」来場者 2,114 人／回答者 =498 人)

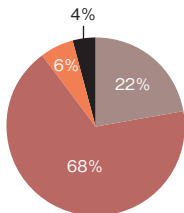
問 1：性別と年代をお聞かせ下さい。

10代	10人
20代	11人
30代	18人
40代	48人
50代	67人
60代	180人
70代	109人
80代以上	7人
無回答	48人



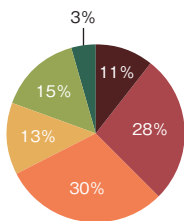
問 2：どちらから来られましたか？

村内	111人
村外(県内)	337人
県外	30人
無回答	20人



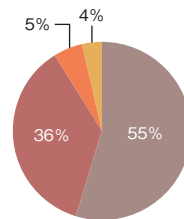
問 3：展覧会を何で知りましたか？ (複数回答あり)

報道	54人
出品者からの案内	136人
友人・知人の紹介	150人
村の広報誌	66人
ポスター・チラシ	76人
インターネットサイト	21人



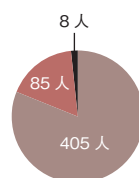
問 4：展覧会を鑑賞された理由は？ (複数回答あり)

内容に興味があった	318人
知人・友人が出品	210人
偶然通りがかった	31人
その他	20人

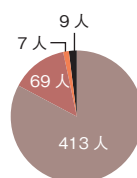


問 5：展覧会をご覧になった感想は？

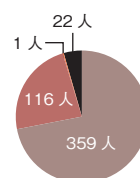
満足	
普通	
不満	
無回答	



開催趣旨



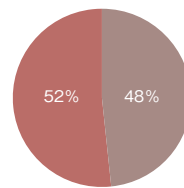
展示作品



展示方法

問 6：明日香村に在住し、創作活動をする作家についてご存知でしたか？

知っていた	241人
知らなかった	257人

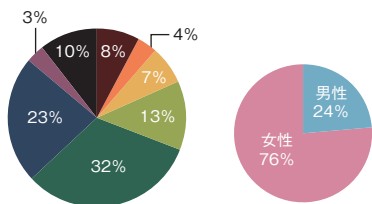


「飛鳥・音の風景」に関するアンケート

(対象者:「飛鳥・音の風景」来場者 220 人/回答者=87 人)

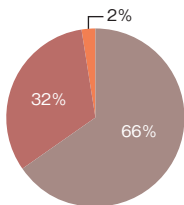
問 1：性別と年代をお聞かせ下さい。

10代	7人
20代	0人
30代	3人
40代	6人
50代	11人
60代	28人
70代	20人
80代以上	3人
無回答	9人



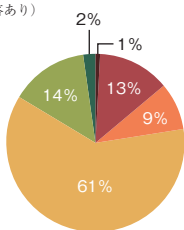
問 2：どちらから来られましたか？

村内	57人
村外(県内)	28人
県外	2人



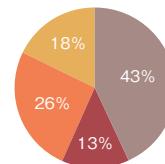
問 3：コンサートを何で知りましたか？ (複数回答あり)

報道	1人
出演者からの案内	12人
友人・知人の紹介	8人
村の広報誌	57人
ポスター・チラシ	13人
インターネットサイト	2人



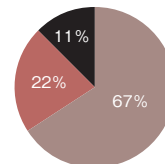
問 4：コンサートに来られた理由は何ですか？ (複数回答あり)

クラシック音楽が好き	42人
選曲がいい	13人
友人・知人が出演	25人
友人・知人に誘われて	17人
その他	0人



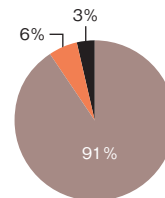
問 5：コンサートをご覧になった感想は？

大変満足	58人
満足	19人
普通	0人
あまり良くない	0人
良くなかった	0人
無回答	10人



問 6：次回も参加したいですか？

参加する	79人
参加しない	0人
わからない	5人
無回答	3人



問 7：今後のコンサートでの希望ジャンルをお聞かせ下さい。(複数回答あり)

クラシック	62人
ジャズ	21人
ブルース	5人
ロック	5人
ポップス	18人
歌謡曲・演歌	10人
童謡	18人
ワールドミュージック	7人
アニメ	8人
映画音楽	17人
その他	4人

「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」2014年度 実施報告書

発行日：2015年3月

編集・制作：株式会社 企画・創

写真撮影：三國 賢一

発行：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

〒634-0141 奈良県高市郡明日香村川原91-1(明日香村教育委員会内)

TEL：0744-54-3636 FAX：0744-54-4647